

経営学の視点から捉えるアクティブラーニング

－組織や社会で求められる力を培う学修に向けて－

商学部
経営・流通学科
教授

西村 香織



研究シーズの紹介

本研究は、経営学の視点を取り入れて、変革期にある組織・社会に貢献するために必要な力を養うアクティブラーニングについて考察することを目的としています。

経営学では、多様な考えや価値観を統合し、そこから新たな生活のあり方や人生の充実を提案してきました。このような多様性に基づく創造性は、教育、特にアクティブラーニングが

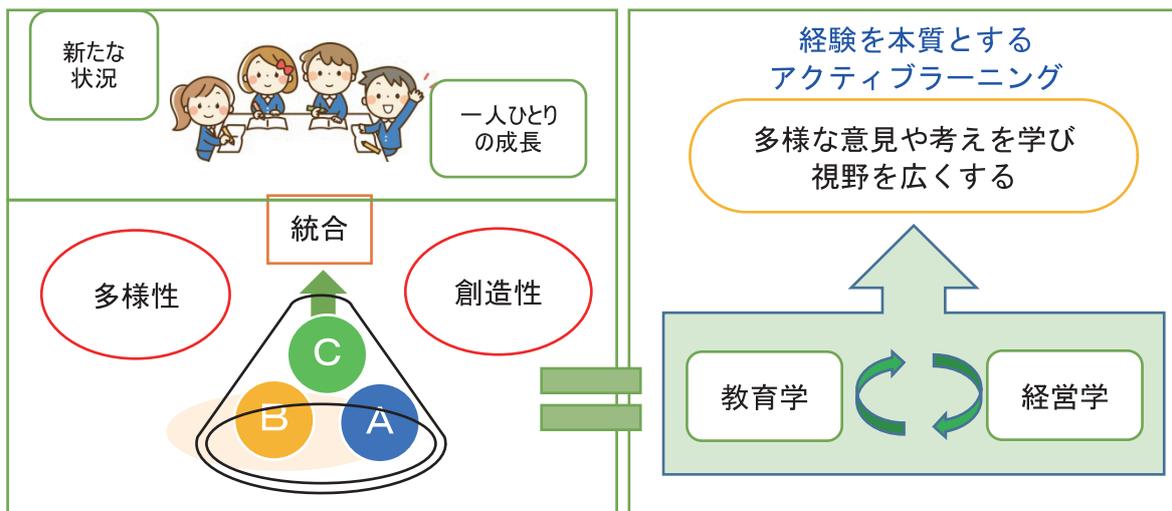
目指すものと結びつくものとして捉えることができます。

多様な意見や考えから生じる相異を活かし、それらを統合して、新たな考えや価値を創造する過程を説くM.P.フォレットの経験論をはじめとする経営学の理論に基づいて、経験の本質をもつアクティブラーニングのより深い学びについて考え、実践に生かしていこうとするのが本研究です。



経験を創造的にする アクティブラーニング

- 組織や社会で求められる力を育てていくことが可能になります。
- 多様性を生かす考えで、地域や企業における事業の創造に貢献していくことが期待されます。



期待される活用シーン

- 変化に対応できる人が欲しい。
- 新しい考えや価値を創造していかなければならない。



大学教育におけるアクティブラーニングを、現実の組織や社会で生かせる力へと繋いでいきます。

地域経済の課題解決に取り組む R (Region) プロジェクト大会にて、学生が情報収集力賞を受賞

- どのようにすれば成長していけるのか分からない。
- 大学で何を学べばよいか分からない。



成長していくために必要なポイントや大学の学びで大切なことが明らかになります。

企業研究を主とした卒業論文の作成

その他の研究テーマ

地域や組織における協働の創造性に関する研究
M.P.フォレットを中心とした経営学史に関する研究
経営管理についての哲学的アプローチからの研究